



第14号

1999.4



社団法人 千葉県緑化推進委員会

緑の風を感じるとき みどりのボランティア 活動報告

みどりの大好きな方々が集い、かけがえのないみどりを、ボランティア活動で守り育てようと誕生した「みどりのボランティア」制度も、早いもので発足から丸3年がたちました。

会員募集とともに延べおよそ500人の登録があり、ボランティア活動によるみどりづくりへの、県民の皆様のご理解と、積極的な姿勢を感じます。とはいえ、誕生してまだ3年の「みどりのボランティア」。実のある活動のためには、これからが大切だと考えております。そのためにも、今後とも引き続きご協力をいただきたく、またさらにボランティアの輪を広げたく、その活動の様子を紹介させていただきたいと思えます。

「いっしょに、活動してみようかな」と思われましたら、是非、ご参加くださいますよう、お待ちしております。



下刈作業。植えたばかりの苗たちは、そのまま放っておくとほかの雑草たちの生命力に負けちゃいそう。助けてあげなくちゃ。この作業は5～6年は続けなくてはなりません。
(6月～9月に実施)
右の写真は、下刈りせずにいて雑草に負けそうなヒノキの苗。



植栽されたクロマツ(3～5月に実施)。ただし、この苗が大きく成長するためには、その後の保育が大切です。



房総風土記の丘周辺の植栽。ここには多くの古墳が保存されており、開発の手が入らずに見事な松林が残っていました。ところが近年、松くい虫による被害にさらされてしまい、健康な松は減る一方でした。ところで、県林業試験場では松くい虫に強い抵抗性クロマツなどを開発。そこで、この苗木を、枯れる以上に植えるという意気込みのもと、毎年春、植え続けてきました。



枝打作業。行う前はうっそうとした暗い林でしたが、ボランティア会員の努力のおかげで、こんなに明るくなりました。あー、すっきりした。枝打作業の目的は、節のない良い木を作ったり、枯れ枝から侵入する病虫害を予防したりすることです。またこの作業をすることによって、林床が明るくなりますので、草本の消滅が防がれ、

表土が保護されます。木々の成長を手伝ってあげられたという満足感でみんなの顔が輝きます。(10月～2月に実施)

研修会や実践活動で得た知識や技術をもとに、ついに自主的なグループが誕生。事務局が把握するだけでも、現在3グループが活動中です。木々は、植栽後も継続して保育が必要ですから、今後はこうした有志によるグループ活動を推進していく予定です。



昨年4月、一般から募集し、厳正な審査の上、デビューした「みどりのボランティア・シンボルマーク」です。今後、幅広く活躍する予定です。森や林は放っておくと荒れる一方。みなさんの力が必要なのです。みどりづくりに参加しませんか？

みどりのボランティア入会について
参加資格等、詳しくはP8を参照。



平成8年度みどりのボランティア「活動実績」

実施年月日	実施場所	主な内容	参加者
H8/8/10	ぎょうせいの森(佐倉市)	下刈	31名
H8/11/9	熊野神社境内(佐倉市)	枝打	10名
H9/2/26	鶴舞県有林(市原市)	伐竹	6名
H9/3/2	房総風土記の丘(栄町)	植栽	29名
H9/3/7	鶴舞県有林(市原市)	植栽	18名

平成9年度みどりのボランティア「活動実績」

実施年月日	実施場所	主な内容	参加者
H9/4/19	かずさアカデミアパーク(木更津市)	植栽準備	30名
H9/4/29	かずさアカデミアパーク(木更津市)	植栽	30名
H9/6/28	鶴舞県有林(市原市)	下刈	25名
H9/7/12	平成の森(栗源町)	下刈	23名
H9/8/9	かずさアカデミアパーク(木更津市)	下刈	29名
H9/10/4	私有林(千葉市)	枝打	41名
H9/10/26	私有林(佐倉市)	林内整備	24名
H9/11/15	私有林(富里町)	間伐	27名
H9/12/5	おおつかの森(四街道市)	竹林整備	34名
H10/1/31	私有林(佐倉市)	林内整備	45名
H10/2/28	教育の森(千葉市)	林内整備	30名
H10/3/14	房総風土記の丘(栄町)	植栽	47名

平成10年度みどりのボランティア「活動実績」

実施年月日	実施場所	主な内容	参加者
H10/4/24	市原市農業センター	植栽準備	29名
H10/4/29	市原市農業センター	植栽	29名
H10/7/11	私有林(八街市)	下刈	31名
H10/9/19	教育の森(千葉市)	林内整備	14名
H10/10/9	私有林(富津市)	下刈	34名
H10/11/13	私有林(千葉市)	林内整備	28名
H10/11/18	ぎょうせいの森(佐倉市)	間伐	17名
H11/2/18	私有林(八街市)	除伐	29名
H11/3/17	房総風土記の丘(栄町)	植栽	41名
H11/3/28	私有林(八街市)	植栽	36名

このほかにも、室内での総合研修や、作業と同時に実施する現地研修などを行っていますので、未経験者でも知識や技術を覚えることができます。

千葉の散歩道

郷土の森
(印西市)

自然そのままの森で 春を満喫しよう

都市化が進む千葉ニュータウン周辺。雑木林や森が減少していきながら、自然のままの森を残したいという願いから昨年4月にオープンしました。

カシ、コナラ、ヒノキ、スギ、ヤマザクラや竹林など生い茂るこの森の広さはおよそ8.8ha。入口広場に入ると、2m幅ほどの丸太でできた遊歩道が森の中に続いています。遊歩道の長さは約800m、できるだけ自然に近い状態をと、道の中に木が何本も残っていたり、真ん中のメイン広場にはテーブルとベンチがあるだけだったりします。

早足なら20分ほどのコースですが、木々が芽吹き新緑に向かうこの季節、

森林浴をしながらふかふかして柔らかい歩道をゆっくり歩いてみませんか。耳をすませば風にそよぐ木の葉の音や小鳥たちのさえずり。目を凝らせば頭上にはエナガやシジュウカラなど。土の上では春を迎えて動き始めた虫たちを見つけることも。大木に耳を付けてみたり、ヤマザクラやスミレの花に足を止めてみるのもよいでしょう。五感を思いっきり働かせれば、たくさんの自然にきっと出会えます。

もちろん春だけでなく、夏の森の涼しさは格別ですし、秋には紅葉狩りや落ち葉をカサコソと踏みしめての散策もおすすめ。一年を通じて自然そのものをぜひ満喫してみてください。

交通/住宅都市整備公団鉄道・千葉ニュータウン中央駅から京成バス高花6丁目行10分。(終点)

車の場合、県道千葉電ヶ崎線から総武カントリークラブへ向かい、高花6丁目バス折り返し所近く

利用料/無料

利用時間/夏期(4月~10月)午前6時~午後6時30分 冬期(11月~3月)午前7時~午後5時

問い合わせ/印西市産業課

☎0476-42-5111



5月ともなると、あちこちで新茶摘みが始まって。一面、緑の茶畑が広がる中で、走り回ったものですね。そんな本格的な茶畑だけでなく、ちょっと昔までは、家の庭先などにもあった茶畑。そういえば、最近あまり見掛けなくなったと思いませんか？ “みどり” といえば、茶畑という印象をお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか？ そうです。かつては茶畑も大切なみどりだったのです。そこで、今回は失われつつあるあの茶畑を求めて探検に出かけてみることにします。



まもなく摘み採られるお茶の芽。千葉の茶はほとんどがやぶきた。収穫量が多く、病害虫にも強い

本当に、お茶畑は減少しているのでしょうか？

答えはイエス。農林水産統計速報によりますと、昭和32年には618haもあった千葉県の茶の作付面積が、平成10年には321haにまで減少しています。およそ半分、しかも毎年減少の一途にあるのです。生葉収穫量で見ますと、統計数字が残されている昭和37年以降では、39年の2343tをピークに、平成3年には591tまで落ちています。およそ4分の1といったところです。お茶畑を見掛けなくなったなと思うのは気のせいではなかったのです。実際に、現在もお茶を作っている千葉市茶生産組合を訪ねてみました。昭和45年から地域特産物として、茶園の造成を推進してきた組合で、千葉市の泉地区を中心に、10数軒の茶農家が集まってお茶の栽培から製造加工、販売まで行っています。県内でこのように組織的な運営を行っているのはここだけとのことでした。ただ、ここでも、かつては254haあった茶畑が、今では23haまで減少しているそうです。



千葉市泉地区に広がる茶畑。静岡などの茶産地の気候と同様、霧が深く、寒暖の差が激しいため、おいしい茶がとれる

お茶のミラクルパワー探検

夏も近づくと八十八夜、野にも山にも若葉が繁る



お茶のミラクルパワー

ここでお茶の効能について。お茶はアルカリ性飲料ですから、血液をアルカリ性化します。さらに、お茶にはレモンの5倍ものビタミンCが含まれています。また、埼玉県立がんセンター研究所は、緑茶とその成分（茶カテキン）には、がんの発生を抑制し、進展を遅らせる効果があると発表。さらに緑茶の多量飲用によって、血清脂質や肝機能の改善、心疾患の死亡率が低下するといわれています。そうそう、O157や食中毒などへの殺菌効果はもう有名ですね。ノンカロリーなのに、こんなにいいことがいっぱいだなんて、お茶ってミラクル。

お茶はえらい！

お茶にはいろいろなパワーがあって、まだまだ県内でも生産されていて…。うれしい驚きいっぱいですが、実はもう一つ、お茶は大切な役目を果たしていたのです。それはお茶の木々も緑の保身に役立っているということ。以前森林のはなしPART6（本誌第12号）でもご紹介したように、葉緑素は光合成をし、地球の温暖化防止に役立っています。みどりは、地球の健康のためにはなくてはならないものなのです。庭先の一畝でも、10軒集まれば大きなみどりになります。人にとっても地球にとっても、緑はとても大切です。だからこそ、千葉の茶畑が増えるよう、協力していこうではありませんか。そのために、お茶のおかわり、くださーい。



千葉市茶生産組合が販売しているお茶。100g400円～1000円。☎043-228-3773

緑 自 慢

周囲を山に囲まれた古くからの城下町、大多喜町の中心部にある町立大多喜小学校。町のシンボルである大多喜城を仰ぎ見るように平成9年3月、新校舎が完成しました。三角のトンガリ屋根、瓦ぶきの和風校舎は、お城や落ち着いた町並みと見事に調和しています。校舎面積は約4000平方m、215名の子供たちが学んでいます。学校は勉強する所という従来のイメージを転換して、憩う場所、楽しむ場所をも含めた暮らしの場である学校を造りたい。そして子供の気持ちも、と考えていったら木の校舎にたどり着いたそうです。地元産のスギ材をふんだんに使ったゆったりとした校舎に一番喜んだのは、もちろん子供たちです。

建物全体が迷路のように造られていて、かくれんぼでもできそうな感じです。休み時間には木のベンチでちょっと内緒話したり、畳コーナーや寝ころがって本を読むスペースもあります。「木の校舎は温かみがありますね。新校舎に移って子供の表情が生き生きしてきました。家にいるより学校の方が楽しいよって、子供たちが言うんです」と、校長の積田寛芳先生。



同校は、文部省指定の「豊かな心を育む教育」実践推進校として、環境教育に力を入れています。新校舎完成を機に従来の樹木に加え、小学校の全教科の教科書に出てくる植物を調べて全部植えました。校舎の周りには数えきれないほどの樹木や花がいっぱい。国語の教科書に載っているユズリハってどんな木、どんな実がなるのだろうかって興味を持ったら、校庭の木を探せばいいのです。樹木ラベルをつけてあるのですぐに見つかります。さらに、一人一人が自分の木を決めて四季を通して観察し記録しています。いつも植物を見たり世話をするうちに、どんな花が咲いてどんな虫がつくのか、雑草を取ったり肥料も必要だねと、気づくようになりました。

また、季節ごとに七草がゆ、シイの実のクッキーや団子作り、学級園でとれた大根を使った大根パーティーなどの行事が盛りだくさん。なかでも地域の人たちを招待する「城下町フェスティバル」は、毎年体育館いっぱいになるほどの大人気です。収穫したサツマイモを使い、親子で作ったさつまいも汁や茶巾絞りなどに、みんなで舌鼓を打ちます。郷土のお囃子が披露されたり子供たちの学習発表も。「サツマイモの栄養価や育てた時の世話の様子も子供たちが発表します。食べ物を通して私たちが元気になる。食と健康、環境に目を向けてほしいと願っています」と、笑顔の校長先生。温もりのある木の校舎、自然や地域の人々とのふれあいは、子供たちの心につまでも残るにちがいません。

この本・CD-ROM オススメします。



森林ボランティアの風
新たなネットワークづくりに向けて
(社) 国土緑化推進機構
企画・監修

全国各地で活動している森林ボランティアの現状を、最新の取材をもとに紹介し、将来方向を探る初めての一冊。先進的な市民グループの取り組み事例や、約400団体の連絡先がわかる全国リストを掲載。企業が進める緑づくりや、国・地方自治体の関連施設も収録。これから森林関連でボランティア活動に参加したい方、グループを作りたい方には、必携の書です。
日本林業調査会 定価1500円(本体1429円)

Our Forest
私たちの森

やさしく、楽しく、科学的に、しかも、身近なことから森について学べるCD-ROMです。意外と知らなかった事実や知識を得られ、正確な森林保護への理解ができるはず。森ができるまで、再生の森を歩く、日本の森などをテーマに美しい画像としっかりとした吉行和子さんのナレーションが楽しめます。
Windows、Macintosh対応。
企画制作/ (株) 大伴社、(株) ソフトデバイス、京都大学農学部付属産学生演習林、(社) 国土緑化推進機構 定価1200円(消費税込)



みどり通信 マイシャッター チャンス



茂原市 青柳利江さん

新緑の中に咲き誇っていた八重桜の群れを見上げて、夢中でシャッターを押したものです。静寂でいて濃密な春の夕暮れの表現できたらうれしいのですが、満開の花の下、喧騒と離れて満喫した春の一刻を忘れられません。この自然環境をいつまでも守り育ててゆきたいのだと感じました。
場所は秋元牧場です。

*抽選で「森林ボランティアの風」を2名、「私たちの森」を5名の方にプレゼントします。ハガキに希望の品、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、(社) 千葉県緑化推進委員会「プレゼント」係へご応募ください。また、グリーンえっせんすをどこでご覧になったか、ご意見、ご要望もお書き添えください。あて先は8ページの右下参照。締め切りは6月30日(当日消印有効)。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

企業の中の緑

東日本旅客鉄道(株)
千葉支社(千葉市)

通勤通学の途中、駅の花壇に、あるいは車窓から見える樹木や花に春の訪れを感じる人も多いのではないのでしょうか。JR東日本では、会社発足5周年の平成4年から毎年3万本の苗木を沿線に植えています。これは、「鉄道沿線からの森づくり」と名付けた植樹活動で、緑を増やし、人と環境にやさしい企業を目指すエコロジー活動の一環です。

ここ千葉支社でも、6,000人弱の社員が毎年一人200円ずつ募金し、苗木を購入して植樹を行っています。懐が痛まない程度の募金も集まれば大きな金額になります。最初の平成4年と翌年は、内房線姉ヶ崎駅構内にツツジ、サザンカ、ペニカナメモチ、シャリンバイの苗木計2,400本を。つづいて長浦～袖ヶ浦間、富浦駅、和田浦駅、勝浦駅と毎年5,000～6,000本の苗木を植えました。昨年は千葉支社内の総武線、東京・亀戸駅にサツキツツジやヤマブキなど4,000本を植樹し、7年間で合わせて約33,000本にも達しています。苗木の種類は各地区によって異なりますが、ツツジやサザンカが多いようです。

毎年5月か6月に行われる植樹当日は、社員がボランティアとして参加し、地元の人たちの協力を得て、いつも大盛況。終わった後、バーベキューパーティーなどのイベントが行われることも。各駅の保線区の社員が植えた後の管理をしますが、地元の人たちもボランティアで水やりや草取りを手伝ってくれるとのこと。

「花の咲く時期、特にお客さまにはたいへん喜んでいただいております。きれいだっておっしゃっていただいたり。心が和むっていうのは、確かにあり

ますね」と、広報室長の川口さん。たとえば平成9年に植樹した外房線の勝浦駅。春のツツジに始まり、アジサイから黄色い花をつけるキンシバイへ、秋にはキンモクセイの香りが漂い、初冬になるとサザンカの花が咲き、季節ごとに乗降客や社員の目を楽しませてくれます。

「植樹の用地を確保するのがだんだん難しくなってきましたが、今後も着実に、続けていきたいと思っています」と、川口さん。ほんのわずかな植樹から始まった「鉄道沿線からの森づくり」も、社員一人一人の緑への願いが年を重ねて実を結び始めました。



緑化基金へご寄附ありがとうございました。

中村 玉一

㈱アイト造園ハタケヤマ

東金造園土木㈱

第19回緑の少年団交流集会参加者

(寄附) 林農社

㈱志津ガーデン

㈱幹樹園

林造園土木㈱

三協グリーン㈱

吉野造園㈱

㈱秋香園

小川造園㈱

川西造園土木㈱

㈱生光園

千葉砂防植栽㈱

㈱志門

㈱横き緑化

伊藤造園㈱

高山造園土木㈱

㈱マスマ

㈱加藤造園

緑造園土木㈱

みかど造園㈱

㈱和田造園

㈱香南園

㈱谷中造園

㈱鈴鹿

山武造園土木㈱

中和造園土木㈱

㈱飯塚造園

㈱馬場造園土木

㈱東松園

㈱府馬造園土木

㈱南総造園

京葉シテイサービス㈱

㈱成田園芸

㈱和歌山園芸

敏忠造園土木㈱

㈱六三四造園

㈱北陸園芸

㈱宮崎カーデン

石川造園土木㈱

㈱植正造園

㈱いすみ造園

㈱草野園

㈱渡辺造園

㈱千葉花壇

㈱植造園土木㈱

㈱井上造園

富岡造園㈱

㈱田辺造園

㈱和田造園産業

千葉造園土木㈱

㈱光風ガーデン

㈱高木園

鎌ヶ谷造園土木㈱

㈱千葉緑地

千葉北部ニュータウン造園㈱

㈱原造園㈱

T E P C O 地球トック&ライブ

コンサート実行委員会

㈱勝田造園

造園土木伊藤園㈱

逸光園緑化㈱

㈱米本造園土木

富士造園土木㈱

㈱日緑

㈱千葉植樹園

㈱成田造園土木

林和会

㈱平戸造園土木

㈱飯塚緑化土木

㈱袖ヶ崎カンツリー倶楽部

寄附者総数73

※平成10年7月から12月まで、期不同、敬称は略させていただきます。

春季・緑の募金のお祝い

平成11年度 緑の募金運動 ■目標額 3,500万円

3月1日から5月31日まで、県内全域で「春季・緑の募金」運動を行っています。

募金運動の方法は各市町村で異なりますが、募金は、本委員会、各支庁産業課、各市町村窓口のほか、各県民の森、千葉そごう、千葉三越、東京電力TEPCO地球館、千葉トヨペット各店、幕張メッセ国際展示場、国際会議場などでも募金箱を設け、受け付けております。

企業・職場単位での募金も推進しておりますので、ご協力、ご関心のある際は、本委員会までご連絡ください。

県民の皆様の深いご理解と暖かいご支援をお願いいたします。



平成10年度においては春季・秋季に分けて2回実施し、その募金総額は35,521,549円に達しました。

お寄せいただいた募金は、より良い環境づくりを目指し、学校や公園といった公共施設などの緑化や、緑化思想の普及啓発などに使われています。

またその一部は、「地球を救え」をスローガンに、世界規模での緑化運動や森林の整備にも役立てられています。

第50回千葉県みどりの祭典を開催します

「ふるさとの みどりがつなぐ かがやく未来」をテーマに第50回千葉県みどりの祭典を開催します。祭典では緑化功労者の表彰、農林産物の展示即売、県民記念植樹ほかを実施します。また、下記の催しについてはあらかじめ参加者を募集（先着順）しております。

お気軽にご参加のうえ、「みどり」を感じてください。

- 日時 4月29日（木・祝）みどりの日
 - 会場 県立青葉の森公園中央広場（千葉市中央区）
 - 募集 みどりのボランティアと県民による記念植樹（300名）
みどりの観察会（50名）
みどりの体験ウォーク（親子100組）
- 申し込みは県庁みどり推進室 TEL043-223-3684

みどり通信マイシャッターチャンス作品募集

緑や自然をテーマに撮影した写真を募集中です。撮影日時、場所、コメントなどを書き添えて、本委員会マイシャッターチャンス係りへ。

掲載された方には、オリジナルテレホンカードをさしあげます。



みどりのボランティア会員募集

「みどりのボランティア」では、おもに県内の荒れた山林の整備などを行っています。

すでにたくさんの方が登録され活動しておりますが、いっしょに活動を希望される方があれば、登録の受け付けをいたします。研修会も行っていますので、経験がなくても知識や技術を身につけることもできます。

くわしくは本委員会まで。

■参加資格 満16歳以上の方

■問い合わせ 本委員会

TEL0438-60-1521



みどりのボランティア
シンボルマーク



●季節の花●

クサボケ

バラ科の落葉広葉低木。山野に新緑が訪れる頃、草木の緑にまじって赤い花をつけて咲く。ひょうきんな名前由来は漢名の木瓜（モッカ）の音が転じたものといわれる。関東以西、四国、九州の丘陵地、山野の日当りの良いところに自生する。たくさんの品種があるボケの中でも、このクサボケは日本原産。枝には鋭い刺がある。ボケの花言葉は平凡、熱情。浮雲の影あまた過ぎ木瓜ひらく（水原秋桜子）
写真提供/吉野 儀氏



表紙の絵

表紙の作品は、平成10年度国土緑化運動ポスター原画コンクールにおいて、中学校の部で千葉県教育長賞を受賞した、我孫子市立久寺家中学校2年（現3年）・輪木里子さんの作品です。また、この作品は全国コンクールにおいて国土緑化推進機構理事長賞を受賞しました。



グリーンえっせんす 第14号

1999年4月1日発行

発行/（社）千葉県緑化推進委員会

〒299-0265 袖ヶ浦市長浦拓2号580-148

TEL 0438-60-1521 FAX 0438-60-1522

編集/凸版印刷（株）TEL 043-245-7071

この広報誌は、再生紙を使用しています。